

最先端を生きる

九工大 DNA

科学技術の最前線で活躍する九州工業大学卒業生を、年々6回にわたって紹介します。
第1回はLSI(大規模集積回路)開発設計部門の「旭化成エレクトロニクス」の開発設計部門の関連会社「AKMテクノロジー」(宮崎市) 宮崎設計開発センター長の金子強さんです。

第3世代携帯電話のフィルター回路で自信

大学では弱電系の勉強をしたので、旭化成工業(当時)に入社(1984年)後、電気機器の制御系でエキスパートになる道を描いていました。ところがその年に会社がLSI事業に乗り出し、配属先は半導体設計の職場に。以来26年間、LSI設計一筋です。

入社から3年間、ファクシミリやモデムのアナログ信号処理回路をCMOS(相補型金属酸化膜半導体)で作り返す仕事をしましたが、目の目を見ませんでした。5年目にプロジェクトリーダーとして取り組んだ携帯電話用のLSI(大規模集積回路)が、北米市場向けの機種で使われたとき、「初めて会社に貢献できた」と感



LSI 開発設計 エンジニア

AKMテクノロジー株式会社
取締役・宮崎設計開発センター長
金子 強 さん (49)
(工学部電気工学科卒業)

大学はものづくりへの 思いを高める場

激しました。

さらに強く手応えを感じたのは、国内向け第3世代携帯電話用LSIの開発を担当し、RF(高周波)信号とベースバンド(基底帯域)信号の両方に対応できる一体型のフィルター回路の設計に挑み、3年がかりで製品として採用されたときです。私たち設計チームと社内研究部署が技術を融合し、さまざまな困難を乗り越えて成果を生み出したことが自信になりました。

研究室で学んだ試行錯誤の姿勢

明専寮に入り、夜中もドンチャン騒ぎで羽目を外し、寮寮のみこし担ぎで戸畑の街を練り歩いたのは、楽しい思い出です。

でも4年次に研究室に入ると、テーマにした「強誘電性液晶」の研究漬けでした。実験で思い描いたデータが出ず、何度も壁にぶつかりました。教授から教わ

る知見や多数の論文から、実験の条件をどう見直せば解決の糸口が見えるか、徹底的に考察し、解析しました。目の前の現象を多角的に捉えて試行錯誤する姿勢を、研究室で初めて学んだ実感があります。その経験は、仕事の現場で見事に生きていますね。

かつて技術立国として世界から認められた日本は、半導体や電気の分野ではこの20年間、韓国、台湾などの企業に押され、相対的に右肩下がりです。でも、ものづくりに懸ける強いエネルギーを持った若手が増えれば、日本は再び世界と戦えると思います。そのエネルギーは、大学で専門分野に触れて具体的な知識を増やし、「世界の最先端を走るぞ」という気構えを持つことで高まります。

理系を目指す若い人には、世界との競争を意識した技術開発に取り組むことで、日本の成長への貢献とともに自身の成長もかなえてほしいです。

夢に羽ばたく卒業生ストーリー

「学び」は「就職」に 活きる。

過去5年間就職先

トップ
30

順位	企業名	就職者数	順位	企業名	就職者数
1	三菱重工業	103	17	新日鉄ソリューションズ	29
2	日立製作所	83	18	NTTデータ	27
3	三菱電機	56		日本電気	26
4	九州電力	46		大日本印刷	26
5	東芝	44		新日本製鐵	26
6	マツダ	42		京セラ	26
	九州日本電気ソフトウェア	42		アイシン精機	26
8	トヨタ自動車九州	40	23	トヨタ自動車	25
9	パナソニック	37		キャノン	25
	安川電機	37		オービック	25
11	本田技研工業	36	26	トヨタテクノカルチャerpソフト	24
12	富士通	34	27	安川情報システム	22
13	パナソニックシステムネットワークス	32		凸版印刷	22
14	デンソー	30		川崎重工業	22
15	ソニーセミコンダクタ九州	29		セイコーエプソン	22

(平成19年～23年3月 学部・大学院卒業生実績)

国立大学法人 九州工業大学

- 工学部 機械知能工学科/建設社会工学科/電気電子工学科/応用化学科/マテリアル工学科/総合システム工学科
- 情報工学部 知能情報工学科/電子情報工学科/システム創成情報工学科/機械情報工学科/生命情報工学科
- 大学院 工学府、情報工学府、生命体工学研究科

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1
TEL.093(884)3056(入試課) 093(884)3007(総務課)



九工大 検索 <http://www.kyutech.ac.jp/>